



# 大 幼



令和5年度  
園長だより No.8  
令和6年2月2日

## 冬のお楽しみイベント

1月は、冬のお楽しみイベントがありました。第1回目は「DAN パネ団」を招いて、パネルシアターあり音楽ありで、子どもをノリノリに楽しませてくれました。子どもたちは合いの手を入れたり、バナナダンスを踊ったりして、自然に物語の中に入り込んでしまいました。

また、翌週には、附属中学校長のミタちゃんを招いて、冬の音楽遊びを楽しみました。自分の好きな楽器を選んで演奏したり、体を動かしながら歌を歌ったり、身体全体で音楽と親しみました。附属幼稚園のピアニスト2人も登場し、アナと雪の女王の曲を弾くと、子どもたちは思わず「ありの～ままの～」と心の向くまま歌っていました。

メロディーは子どもたちの感性や情緒を震わせ、思わず声が出て体が動き出す、表現する喜びを味わったことでしょう。



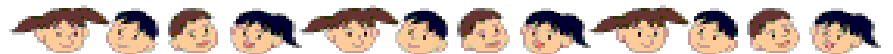
## 鬼さんこちら… 鬼は外…

「おにごっこ」ではいつも鬼役を押し付けられる園長ですが、今日は、リアルな赤鬼としてみんなの前に現れた。さあたいへん。逃げる子、戦う子、追い出そうとする子、対処は様々でした。

年中行事として伝統的な「豆まき」ですが、魔除け・邪気払いの習わしは現在にも受け継がれています。誤嚥を招くということから、園での豆使用はできませんが、新聞紙で豆を作って鬼退治を実行しました。

その後、年長さんと鬼は「鬼のパンツを」踊ったり、記念写真を撮ったりしてなかよくなりましたとさ。

## 外注弁当試食会を終えて



1月31日（水）外注弁当試食会があり、保護者の7割程の方が参加してくれました。今回は、日本食育キッズトレーナーの佐藤さんを招いて食育講座も開催しました。

保護者の方からは、「日頃のお弁当には入れないおかずばかりで、色々な食材を食べる機会になる」「普段苦手な食べ物でも友だちと同じものを食べることで、克服できるかも」といったお弁当を望む感想や、「実際の容器や献立が見たい」といった要望もありました。また、食育講座では、「お手伝いや味見が食育になるといった身近で簡単な取組を教わった」「好き嫌いとは味覚の発達途中という言葉に勇気づけられました」といった感想があり、専門家からの意見が、家庭生活をさらに潤しそうです。

小学校に進学すれば、給食指導の中で等しく食事をするようになります。好き嫌いとも向き合わなければいけませんし、一定量を食べ進めなければいけません。皆様のご意見を今後の食育の参考にして、来年度以降の取組に活かせたらと考えています。